

| | | | | | | | | | |
|----------------|--|------|------------|-----|-----------------|--------|--|------|-----|
| 科目名称 | 時事英語 | | | | ビジネス・キャリア | () | オフィス情報 | () | |
| 英文科目名称 | Current English | | | | グローバル・コミュニケーション | (○) | 医療事務・医療秘書 | () | |
| 科目コード | 590146 | 授業形態 | 演習 | 単位数 | 2 | | | | |
| 教員氏名 | 水島 孝司 | | 年次配当 | 2年次 | 前期 | ホテル・観光 | () | 大学編入 | (○) |
| 実務経験教員担当 | 有・ (無) | | アクティブラーニング | | (有) ・無 | | | | |
| 授業概要 及び授業方法 | <p>本授業の目的は、受講生がめまぐるしく変化する世界の現状を理解するために、authentic Englishであるニュースを教材として、読解スキルを高めるのを支援することである。最新のニュースを輪読することで、英語運用能力試験、大学編入学試験などにも対応できる時事英語の理解力を養成する。読解スキル向上のためには、語彙や文法の知識を強化する必要もあるので、これらの面についての丁寧な解説も行う。</p> <p>世界で起きている出来事について英語で理解することは案外難しい。それは単に語彙力不足を含む英語力の問題という部分もあるが、背景知識が不足していることも大きな理由として挙げられる。したがって、受講生には、普段からまずは日本語でよいので新聞やインターネットなどでニュースを見たりして、なるべく多くの背景知識を得ておくようにしてほしい。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 英語読解(旅行・エアライン) | | | | 卒業認定(学習成果)との関連 | | ①, ②, ③, ④ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(授業の進め方、評価方法の説明) 2. Learning how to ask questions 3. Learning how to ask questions(続き) 4. Oceans to hold more plastic than fish by 2050 5. Oceans to hold more plastic than fish by 2050(続き) 6. Is your plan sustainable? 7. Is your plan sustainable?(続き) 8. Artificial intelligence: helpful and dangerous 9. Artificial intelligence: helpful and dangerous(続き) 10. Social media is keeping young adults awake 11. Social media is keeping young adults awake(続き) 12. How well is English spoken worldwide? 13. How well is English spoken worldwide?(続き) 14. Rich people even have better stress than poor 15. Rich people even have better stress than poor(続き)、まとめ <p>*2021年度の「英語読解(時事英語)」で読んだニュースのタイトルを参考までに掲載する。</p> <p>2024年度開講の本授業で読むニュースは、より最新のニュースから担当教員が選ぶ予定。</p> | | | | | | | | |
| 授業時間外の学 習 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業内容について予習・復習する(意味や発音などの分からない単語調べ、音読練習を含む)。 ・小テストに備えて、前時の授業を復習する。 ・紙の新聞やインターネットなどで、週1回以上、内外のニュースに触れる。 ・パワーポイントの作成を含めて、グループ発表の準備をする。 <p>(学修に係る標準時間は週約2時間)</p> | | | | | | | | |
| 授 業 の 到 達 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニュース特有の語彙や慣用表現に慣れて、語彙力や表現力を伸ばすことができる。 ・辞書の助けを借りながらも、英文ニュースを読んで理解できる。 ・英語ニュースの内容や背景などについて、グループで5分程度の発表をすることができる。 ・社会や世界の動きに興味や関心を膨らませることができる。 | | | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 学生の発表内容(英語音読、訳出した日本語、グループでの発表など)に対してコメントする。 | | | | 評価方法・基準 | | 小テスト(30点)、定期試験(30点)、グループ発表(20点)、参加度(20点) | | |
| テ キ ス ト | 開講時に指示する。 | | | | | | | | |
| 参 考 書 | ・英英辞典(特に、Longman Dictionary of Contemporary Englishを勧める) | | | | | | | | |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> ・英検2級合格程度以上の英語力を有していることが受講条件。 ・授業前の予習と授業後の復習を徹底すること。それによって英語力を効果的に伸ばすことができる。 ・毎回、英和辞典を持参すること(紙の辞書が望ましい)。 ・英語を学ぶことで得られる喜びの1つは、辞書の助けを借りながらも、英語ニュースの内容を理解できるようになることです。一緒に頑張って、この喜びを共有しよう。 | | | | | | | | |